

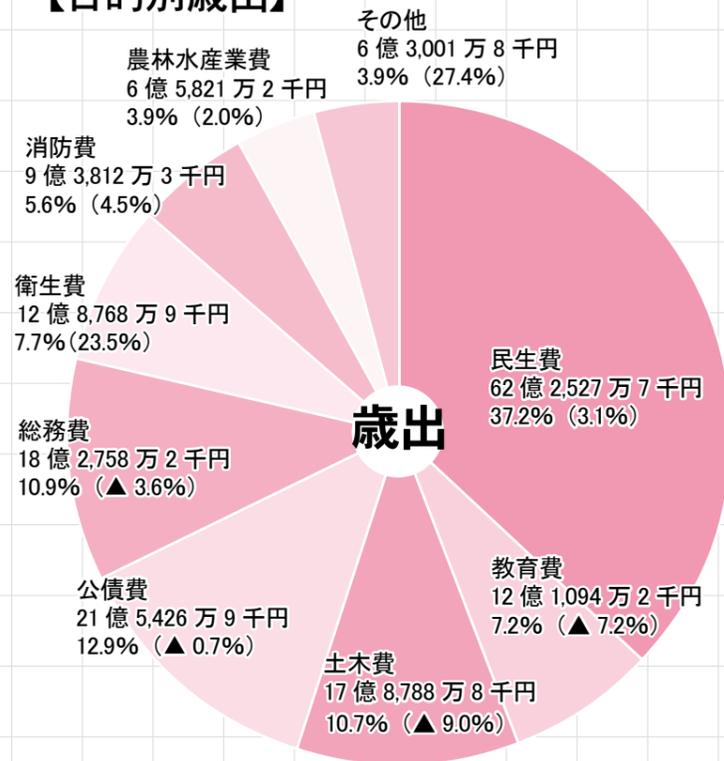
予算概要

歳出予算概要

- ▶ 民生費は、民間保育園への補助の増額により、1億8,905万6千円、3.1%の増、総額62億2,527万7千円。
- ▶ 教育費は、霞ヶ浦地区小中学校統合に係る環境整備事業が終了することから、9,382万6千円、7.2%の減、総額12億1,094万2千円。
- ▶ 土木費は、神立停車場線の工事費および神立駅周辺整備事業費の減などにより、1億7,715万7千円、9.0%の減、総額17億8,788万8千円。
- ▶ 公債費は、償還利息の減に伴い、1,484万8千円、0.7%の減、総額21億5,426万9千円。
- ▶ 総務費は、サイクリング拠点整備など地方創生関連事業の完了などに伴い、6,757万4千円、3.6%の減、総額18億2,758万2千円。
- ▶ 衛生費は、新広域ごみ処理施設建設に伴う負担金の増により、2億4,539万3千円、23.5%の増、総額12億8,768万9千円。
- ▶ 消防費は、防災マップの作成、消防車両の整備に伴い、4,073万1千円、4.5%の増、総額9億3,812万3千円。

一般会計歳出

【目的別歳出】



一般会計予算総額 167億2千万円

<義務的経費>

その支出が義務づけられ、任意に節約ができない経費(人件費、扶助費、公債費)

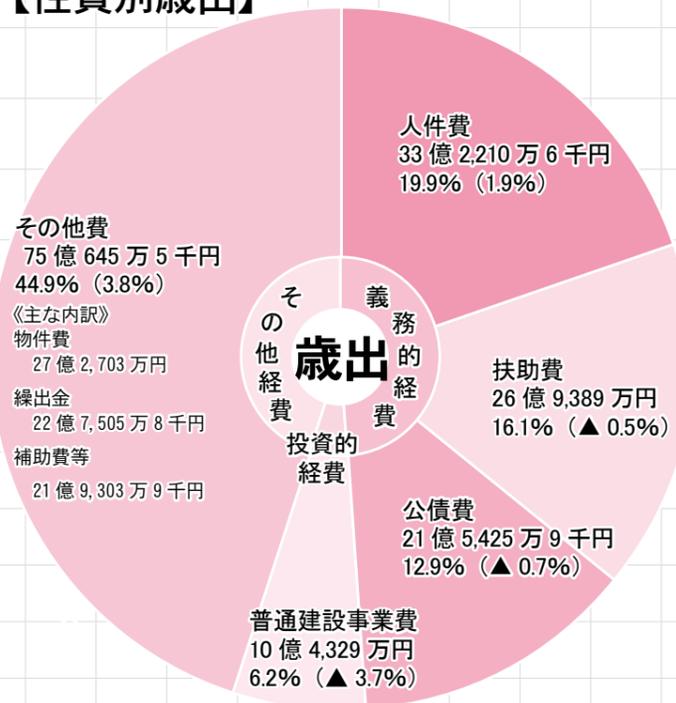
<投資的経費>

道路や施設などの整備に使う経費(普通建設事業費、災害復旧費)

<その他経費>

上記以外の経費(物件費、補助費等、積立金など)

【性質別歳出】



平成 30 年度 かすみがうら市の

平成 30 年度当初予算編成については、「行財政改革の徹底」「健全な財政構造を構築」といった観点に立ち、事業の必要性や費用対効果について十分に精査し、限られた財源の重点的かつ効率的な予算編成に努めました。一般会計、特別会計を合わせた予算総額は272億2,880万円となり、前年度に比べ7億5,620万円、2.7%の減になりました。このうち一般会計は167億2,000万円の前年度に比べ2億7,000万円、1.6%の増となっています。

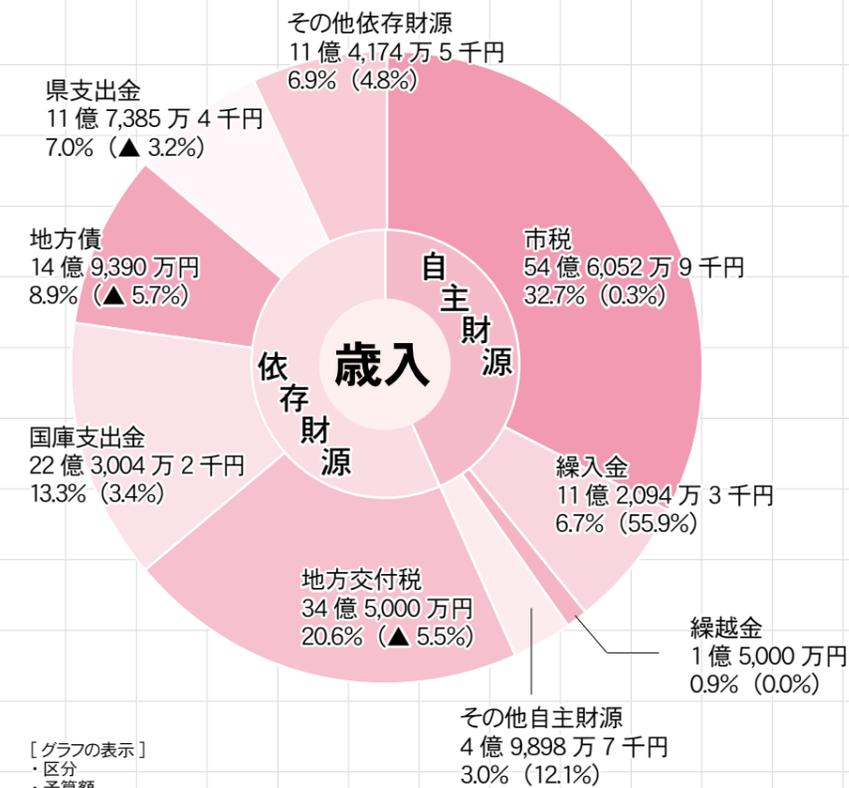
問 政策経営課(千代田庁舎)

一般会計歳入

自主財源▶▶市が自主的に収入できる財源
依存財源▶▶国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源

歳入予算概要

- ▶ 市税は、固定資産税の増収を見込み、1,747万7千円、0.3%の増、総額54億6,052万9千円。
- ▶ 地方交付税は、合併算定替えの縮減や、大規模事業の償還終了に伴い合併特例債償換金の算入が一時的に減額となるため2億円、5.5%の減、総額34億5,000万円。
- ▶ 国庫支出金は、民間保育所施設整備補助ならびに橋梁補修等の国補事業増により、7,346万3千円、3.4%の増、総額22億3,004万2千円。
- ▶ 県支出金は、介護施設準備補助や放課後児童健全育成事業に係る事業費の減に伴い、3,918万7千円、3.2%の減、総額11億7,385万4千円。
- ▶ 繰入金は、市債の元利償還および民間保育所施設補助に係る費用に充てるため、4億180万5千円、55.9%の増、総額11億2,094万3千円。
- ▶ 地方債は、神立駅周辺整備事業、街路整備事業等大型事業の事業費の減および臨時財政対策債の減に伴い、9,020万円、5.7%の減、総額14億9,390万円。



[グラフの表示]
・区分
・予算額
・構成比(前年度比)

企業会計歳入

企業会計	予算額	前年度比
収益的収入	10億3,483万円	0.3%
収益的支出	9億8,323万3千円	▲4.0%
資本的収入	3億7,305万9千円	31.2%
資本的支出	6億6,624万5千円	17.2%

特別会計歳入

特別会計	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	48億1,470万円	▲17.4%
後期高齢者医療特別会計	7億6,870万円	7.8%
下水道事業特別会計	10億5,450万円	▲7.9%
農業集落排水事業特別会計	4億6,100万円	3.6%
介護保険特別会計	34億990万円	0.1%

